

ひがた 干潟に集まる鳥たち

野鳥観察園の汽水池には、水路を伝って海水が流れ込んでいます。
干潟に集まる鳥たちを観察してみましょう。

Check Point

干潟ってなんだろう

潮の満ち引きによって、陸地や海面になったり
する砂泥地を干潟(ひがた)というよ。



干潟にすむ生きもの

貝類やゴカイ、カニなど。生物相の豊かな
干潟には、鳥がたくさん集まるんだ。



クチバシハなぜ長い?

トンネルのような穴に隠れるゴカイやカニを、
シギは長いクチバシで引っ張り出すよ。



足長の鳥たち

シギやチドリは、海水で羽毛を濡らさない
よう、長い足をしているんだ。



ヨシゴイ
日本で一番小さなサギやチドリに似た大きさ。
ヨシ原でも見られます。

イラスト・デザイン: 向田智也
Copyright(C)Tomoya Mukaida Yokohama Greenery Foundation. All right reserved.



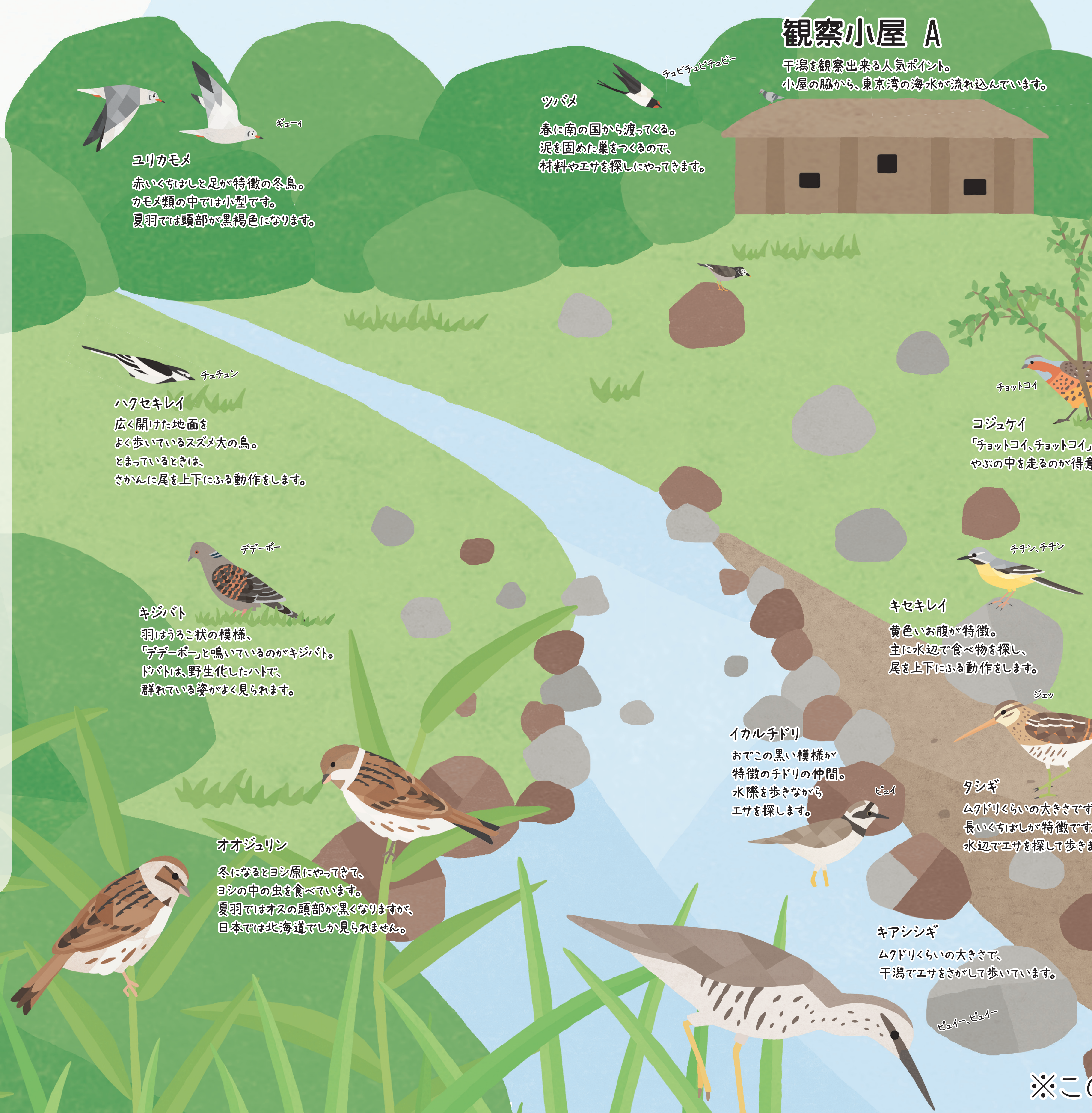
トビ
上空で旋回するように飛んでいます。
「ビョロロロ」と鳴きます。

ミサゴ
ツカの仲間。池に飛び込んで
魚をキャッチするところからみられるかも。

カワラヒワ
黄色い模様がお目立つ
スズメ大の小鳥。
草や木の実を好んで食べる。

ヤマガラス
林の中で「ヒューン」と鳴く。
スズメ大でオレンジ色のお腹をした小鳥。

観察小屋 A
干潟を観察出来る人気ポイント。
小屋の脇から、東京湾の海水が流れ込んでいます。



ユリカモメ
赤いくちばしと足が特徴の冬鳥。
カモメ類の中では小型です。
夏羽では頭部が黒褐色になります。

ツクシ
春に南の国から渡ってくる。
泥を固めた巣をつくるので、
材料やエサを探しにやってくる。

ハクセキレイ
広く開いた地面を
よく歩いているスズメ大の鳥。
とまっているときは、
さかんに尾を上下にふる動作をします。

キジバト
羽は扇状の模様。
「チヂーポー」と鳴いているのがキジバト。
ドブは野生化したハトで、
群れている姿がよく見られます。

オオジュリン
冬になるとヨシ原にやってくる。
ヨシの中の虫を食べています。
夏羽ではオスの頭部が黒くなりますが、
日本では北海道でしか見られません。

イカルチドリ
おでこの黒い模様が
特徴のチドリの仲間。
水際を歩きながら
エサを探します。

キセキレイ
黄色いお腹が特徴。
主に水辺で食べ物を探し、
尾を上下にふる動作をします。

シギ
ムクドリくらいの大きさでずんぐりした体。
長いくちばしが特徴です。
水辺でエサを探して歩きます。

キアシシギ
ムクドリくらいの大きさで、
干潟でエサをさがして歩いています。

コジュケイ
「チョットコイ、チョットコイ」と鳴く。
やぶの中を走るのが得意。

カワセミ
水辺の杭や枝に止まって、
小魚を狙う。大きなくちばしで
魚をつかまえるところからみられるかな?

イソシギ
ムクドリより小型。
尾を振りながら水辺を歩きます。

※この風景は汽水池から観察小屋Aを見たものです

おねがい

- 動植物の持込、持出しはしないでください。
- 火気は使用しないでください。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- 危険なことやほかの人に迷惑になることはやめましょう。
- バイクや自転車は所定の場所へ駐輪してください。
- 園路のみ立入可能です。
- 大声で騒ぐのはやめましょう。
- 犬には必ずリードをつけましょう。

野鳥観察園
Bird-watching Garden
指定管理者: 公益財団法人横浜市緑の協会
お問い合わせ: TEL:045-782-8004 (長浜公園)